



鹿児島大学病院広報誌

だより

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集委員会



〈目次〉

【診療科・部門紹介】

- 》 歯周病科
- 》 呼吸器内科
- 》 脳神経外科
- 》 呼吸器外科
- 》 矯正歯科
- 》 心臓血管外科
- 》 手術部

- バカにできない脂肪肝のお話
- 医務課からのお知らせ
- おはら祭に30回目の参加

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

〈患者さんの責務〉

1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

全身を狙う歯周病

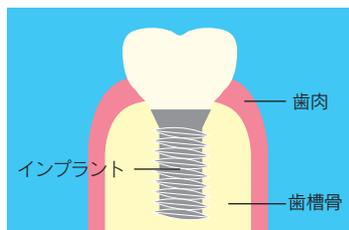
歯周病科

歯周病はプラーク(歯垢)あるいはバイオフィルムと呼ばれる細菌の塊が原因で、歯ぐきの腫れや出血が起き、歯を支える骨が溶けてグラグラ動いたり、放っておくと歯が抜けてしまう病気です。日本では、成人の約80%が罹患しているといわれています。近年、この歯周病は、心臓病、糖尿病や肺炎などの全身の病気や低体重児出産などのリスクファクターであることがわかってきました。

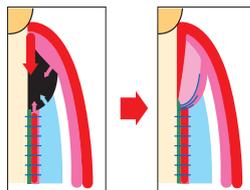
歯周病科では、歯周病の専門的な治療を行っています。治療の基本は、軽度の場合はブラッシング指導や歯石除去ですが、歯周病が進行している場合は外科的な治療も行います。歯周病によって破壊された歯周組織を再生する歯周組織再生誘導法(GTR法、先進医療として認可されています)や下がった歯ぐきを審美的に改善する手術を行っています。

その他、歯が失われた部位への歯科インプラント治療(こちらも先進医療として認可されています)はインプラント専門外来で、また歯周病と関連が深い口臭の検査や治療は口臭専門外来にて行っています。

たかが、狭い口の中の病気と考えず、検査、治療をぜひ受けて下さい。

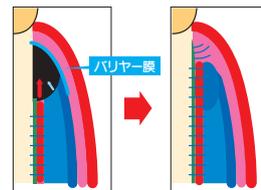


【歯周組織再生誘導法(GTR法)の概念】



【フラップ手術】

長い接合上皮を伴った上皮性付着による治癒



【GTR法】

セメント質、歯根膜、歯槽骨の再生を伴った結合組織性付着による治癒



長びく咳^{せき}にご用心

呼吸器内科

ちょっと深呼吸をしてみましょう。口や鼻から吸い込んだ空気は、気管から気管支という管を通して肺(肺胞)に到達します。呼吸器内科は、この空気の通り道である気管から肺までの疾患をあつかう科です。

ここでもっとも多くみられる症状は咳です。咳は風邪でも出てきますが、4、5日もすればふつうなおってしまいます。ですから、2週間以上も咳や痰が続く場合は、なんらかの病気が呼吸器に隠れているのではないかと、疑う必要があります。

「長びく咳」の原因としては、ぜんそく、アレルギーが関係するもの、肺が硬くなる間質性肺炎やタバコによって肺や気管支がおかされる慢性閉塞性肺疾患などがあります。そのほか肺結核や肺癌も「咳がなかなかおらない」という症状で発見されることが少なくありません。

わたしたちの科では、胸部レントゲン写真はもちろん、CTや痰の検査、血液検査、肺機能検査、さらに気管支鏡といった専門的な診察や検査を受けることができます。早期の診断は早期の治療につながります。少しでも気になる症状があれば、早めの外来受診をおすすめします。



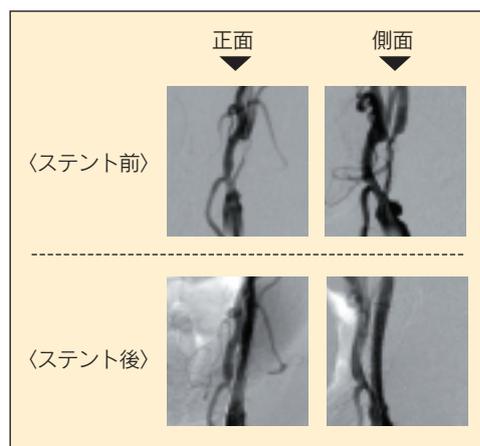
頸動脈狭窄症に対するステント治療 脳神経外科

一般的に脳梗塞は頭の血管の異常だけが原因と考えられがちですが、時には心臓の不整脈(某有名野球選手の脳梗塞の原因がこれに当たります)や、頸部血管の異常により起こることもあります。

その中で頸動脈狭窄症は、頸部の頸動脈分岐部に動脈硬化による血管の狭窄を生じ、これが原因で脳血流の低下をきたしたり、頭蓋内塞栓の原因となったりして脳梗塞を引き起こす疾患です。この頸動脈狭窄症は全身の動脈硬化性病変の一つにあげられ、今日その患者数は確実に増加する傾向にあるようです。

治療としては、以前から頸動脈内膜剥離術という確立された外科的治療法がありますが、最近ではより低侵襲な治療法として頸動脈ステント留置術に期待が集まるようになってきました。これは大腿部の血管からカテーテルを挿入して狭窄部に到達させ、ステントを留置する治療です。局所麻酔での施行が可能であり、技術の向上と関連器材の発達により安全性も高まったことから、その数は増加傾向にあります。日本では残念ながら未だ保険適応になっていませんが、米国ではすでに日常的に行われている治療であり、当科でも2003年以降この治療を第一選択に行ってきました。

ステント治療につきまして何か質問または受診希望等ございましたら、脳神経外科外来(TEL 099-275-5828)までお問い合わせ下さい。



幅広いニーズにこたえる

肺癌患者数は増加の一途ですが、最近では化学治療、放射線治療の向上により肺癌治療の幅も大きくひろがりました。私たち呼吸器外科は呼吸器内科、放射線科、病理部などと密に連携をとりながら患者にとって最も適した治療法をサポートしています。気管支鏡下超音波や縦隔鏡・胸腔鏡での診断、小型肺癌への胸腔鏡下手術、胸腔鏡併用の小さな開胸創での肺癌根治術、気管支・血管形成や胸壁再建を伴う拡大手術などさまざまな外科治療を行っています。また他科の悪性腫瘍の肺転移診断や治療、アスベストで話題の胸膜疾患の胸腔鏡診断や中皮腫の外科治療、癌性胸膜炎の外科治療なども増えてきました。外科治療後の補助、再発への化学療法も積極的に行っています。その他、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、気胸、気道レーザー・ステント治療など、首からお腹の間のことは何でもご相談ください。

もちろん患者が病気は治してもらおうのではなく、治すのだという自信を持てるようサポートすることを大切にしています。

呼吸器外科



呼吸器外科のスタッフ

人に気付かれずに矯正歯科治療が受けられます ～外から見えない装置の使用～

矯正歯科

歯並びが悪いので矯正歯科治療を受けたいにもかかわらず、装置が目立つので恥ずかしくて嫌だと思っておられる方、また接客をする業務などに就いていて、矯正装置を歯に付けるのを禁止されている方はいらっしゃいませんか？

確かに従来の矯正歯科治療では、歯の表面に非常に目立つ金属製のボタンのようなもの(ブラケットと呼びます)を付けていました。しかし近年、歯科材料や治療技術の進歩により、歯の表面に付けていても目立ちにくい色をしたプラスチック製やセラミックス製の白いブラケットが開発され、実際の治療に用いられています。さらに、人に全く気付かれずに、すなわち外から見えないように歯の裏側にブラケットを付けて治療する方法も開発され、当診療科でもこのような治療を行っています。

矯正装置が外から見えることに対して抵抗のある方、仕事の都合で外から装置が見えてはいけない方は、お気軽に矯正歯科外来(TEL 099-275-6620)までご相談ください。

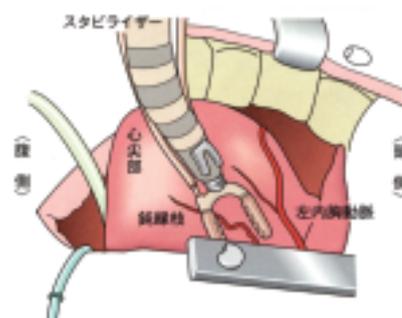


外から見えない矯正歯科治療

進化する冠動脈バイパス術 心臓血管外科

心臓を栄養する血管を冠動脈と呼びますが、これが狭くなったり、閉塞すると、狭心症や心筋梗塞が起こります。冠動脈の治療には①薬物による治療、②カテーテルで血管を広げて血流を回復させる治療、③バイパス手術の3つがあります。バイパス手術は、重症なケースが対象になり、いわば最後の切り札です。心臓の冠動脈に狭さくや閉塞があると、その下流には血液が不足するので、側道を作って血流を増やします。従来、人工心肺装置という大がかりな器械を使って心臓を止めて行う手術が主流でしたが、最近、心臓を動かしたままの心拍動下での手術ができるように進化してきました。この方法は脳梗塞、腎不全等の重篤な合併症を回避し、入院期間を短縮できるなど患者さんにとって優しい手術です。心臓を動かしたままの手術は、バイパスをいかにうまく繋ぐかにかかっています。このため、スタビライザーという器具を使って、バイパスを作る部分を吸着して固定、その部分だけを動かさないようにして手術します。

鹿児島大学病院では、最近、バイパス手術のうち心拍動下での手術が92%以上であり、昨年も同じ割合でした。当院での心臓血管外科手術数は、年間300例を越し、日本のトップクラスの症例をこなしています。心臓血管外科手術は危険性の高い分野と考えられていますが、日々進化しています。当科ではこの進化をいち早く取り入れ心臓血管外科手術の安全性と患者様の生活の質の向上を重視し、患者様の信頼を得られる治療をめざしていきたいと考えております。詳しくお知りになりたい方は、お気軽に心臓血管外科外来(TEL 099-275-5815)までご相談ください。



動いている心臓をスタビライザーで固定しています

安心・安全な手術を支える

手術部

手術部は病院のほぼ中央の4階に位置し、12の手術室があります。グラフに示すように年々手術件数が増加し、年間4,500件に達しています。

懸案であった病院再開発の目途がつき、3年後には16の手術室を擁する中央診療棟が増築される予定です。増改築後には、現在歯科病棟で実施されている約700件を含めて、年間6,000件、毎日30件程の手術が予想されます。現在、8割の患者様がご家族に付き添われ、歩いて手術室へ来られます。新しい手術部には、広くて明るい入り口、待合いロビーを計画しています。

外部からは見えませんが、手術部には病院の中で最も多くの看護師が配置されています。各科のそれぞれの手術が安全に予定通りに実施され、患者様と御家族に安心して頂けるように、専門的な知識と技術を身につける努力を毎日続けています。前日には手術を担当する麻酔科医や看護師が術前訪問に伺います。不安な点や疑問はお気軽におたずねください。



！ 消化器内科から ワンポイント・アドバイス

バカにできない脂肪肝のお話

～NASH(非アルコール性脂肪肝炎)について～

消化器内科 (肝臓グループ)

“飽食の時代”という言葉を目にして久しいですが、その“付け”が生活習慣病の一つである脂肪肝となり、健康診断で指摘される患者様が増加しております。中でも今やC型肝炎と並んで話題のNASH(非アルコール性脂肪肝炎)をご存知でしょうか？

脂肪肝とは肝細胞の3分の1以上に脂肪がたまっている状態で、原因のほとんどはお酒の飲みすぎ、食べ過ぎ、運動不足などです。日本では成人の3～4人に1人が脂肪肝といわれ、全体で200万人と推測されております。通常の脂肪肝では肝臓に炎症が起こることはありませんが、中でもお酒をあまり飲まない人が脂肪肝になり、アルコール性肝炎と同じように炎症を起こす病気をNASHといい、70～80万人いると考えられています。NASHを放置すると10年後には1～2割の人が肝硬変になり、その一部は肝臓に進行することがわかってきました。

NASHは新しい病気の特効薬はありません。治療の基本は生活習慣の改善であり、合併しやすい肥満、高血圧、糖尿病をしっかりと治療することにあります。詳しくは当科(TEL 099-275-5326)へご相談ください。



肝臓グループスタッフ一同
日本肝臓学会終了後の野球大会でのスナップ、札幌市

〈医務課からのお知らせ〉

病院内でも携帯電話が使えるようになりました

平成18年11月15日より、病院内で携帯電話が使用できるようになりました。ただし、通話は通話可能場所にてお願いします。また、使用禁止場所では電源をお切りください。通話可能場所・使用禁止場所の詳細は各所に掲示している、携帯電話利用案内をご覧ください。

ルールとマナーを守りましょう

- マナーモードにすること
- 通話可能場所で通話すること
- 使用禁止場所では電源を切ること

通話は指定された場所に限りませ

〈通話可能場所表示〉

〈使用禁止場所表示〉



鹿児島大学病院「おはら祭」に30回目の参加

鹿児島の秋を彩る市内最大のイベント第55回「おはら祭」が11月2日、3日の両日にわたって盛大に開催され、鹿児島大学病院も市民との交流を図る絶好の機会に踊り連を結成し2日の前夜祭に参加しました。

踊り連の参加も今回で30回目となり、教職員で構成された総勢約180名の踊り連は、揃いの法被、浴衣姿で「おはら節」、「はんや節」のリズムに合わせて「エンヤサー」「ヨイヤサー」と元気な掛け声を響かせて踊り、沿道の観衆から盛んな拍手を浴びました。



総勢180名の鹿児島大学病院の踊り連

広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気の一般知識など知っておきたいことがありましたら、お知らせください。
また、「桜ヶ丘だより」への患者様、県民の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈4号〉

2007(平成19)年1月発行

発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~hosp/t-page/>